

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援事業所ひまわり			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日 ~ 2026年 1月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日 ~ 2026年 1月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での活動が主なため、それぞれの児童に合わせたベース、支援内容で活動していること。	利用者児童の成長に合わせた支援内容を支援者が工夫して行っています。その日の体調や、気持ちに合わせて活動内容を変更したり、保護者様や児童からの希望も積極的に療育に取り入れています。	活動の幅を広げ、様々な療育、経験を積めるようなサービスを提供していきます。
2	多機能型事業所であるため、児童発達支援からステップアップで放課後等デイサービスへ移行ができる。	就学後の通所も見据え、同じ職員がどちらの療育にも参加することで、児童の特性理解と継続した支援によりスムーズな移行が可能となっています。	児童発達での支援内容、特性を放デイ職員へ共有し継続した支援を行います。
3	同法人内から様々な職員が療育に入ることができること。	様々な職員が療育に参加し、音楽療育や運動療育など幅広い支援が可能です。また、情報共有も欠かさず行い児童の特性理解をしたうえでの支援を行っています。	さらに専門性や支援力を向上できるよう職員研修に力を入れ、療育の幅を広げます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの保護者同士の交流の、家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）や家族等が参加できる研修会などの機会が設けられていないこと。	送迎時の引継ぎやモニタリング時にそれぞれの保護者様との意見交換をさせていただいているが、保護者様同士での意見交換の場は設けられていません。	現在保護者様に向けた研修会を検討中です。今後も保護者様のニーズに合わせ機会を設けるとともに、引継ぎ・モニタリングの際にもご家族支援をしていきます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園や、地域方たちと交流する機会が少ないこと。	図書館や公園や同法人内の施設を利用し、療育室の外での活動も計画し行っていますが、地域の方々との交流はできていません。	多機能型の事業所のため、時間によっては未就学児以上の児童との関わりを持つ機会もあります。普段の活動とは違った他児との関わりや、地域の方との交流の機会もより充実させていきます。
3			